

平成30年度 横浜創英大学

[看護学部 看護学科]

入学試験問題集

【総合問題】

1. 推薦入学試験〔公募〕(第Ⅰ期・第Ⅱ期)

平成 30 年度

横浜創英大学

〔看護学部 看護学科〕

推薦入学試験〔公募〕（第Ⅰ期）

総合問題

平成29年10月28日（土）

受験生に対する注意

1. 「始め」の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 指示があったら問題冊子と解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1 ページです。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答はHB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用し、下敷きは使用しないでください。
5. 解答は別紙解答用紙に記入してください。
6. 試験開始後30分間は退場できません。30分を経過して退場するときは、静かに手をあげて試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題冊子、解答用紙はすべて回収となります。

受 験 番 号

N					
---	--	--	--	--	--

氏 名

--

問題 次の【表1】は、わが国の平成24年(2012年)の死因順位でみた死因別死亡数と平成23年(2011年)の死因別死亡数である。この表を見て設問に答えなさい。

なお、平成24年と平成23年の総人口はそれぞれ、1億2,751万5千人と1億2,779万9千人である。

【表1】 わが国の平成24年の死因順位でみた死因別死亡数と対平成23年比較

死 因	平成24年(1~12月)		平成23年(1~12月)		差引増減 死亡数(人)
	死因順位	死亡数(人)	死因順位	死亡数(人)	
が ん	1	360,963	1	357,305	3,658
心 疾 患	2	198,836	2	194,926	3,910
A	3	123,925	3	124,749	824
脳血管疾患	4	121,602	4	123,867	2,265
老 衰	5	60,719	6	52,242	8,477
不慮の事故	6	41,031	5	59,416	-18,385
自 殺	7	26,433	7	28,896	-2,463
腎 不 全	8	25,107	8	24,526	581
慢性閉塞性肺疾患	9	16,402	9	16,639	-237
肝 疾 患	10	15,980	10	16,390	-410
全 死 因	合 計	1,256,359	合 計	1,253,066	3,293

※厚生労働省 平成23・24年の人口動態統計のデータを元に作成

設問1 死因 **A** の病名は何かひとつ選び、番号で答えなさい。

1. 糖尿病 2. 結核 3. 認知症 4. 肺炎

設問2 平成24年死因第6位の不慮の事故について、平成23年が多かった理由を枠内に述べなさい。

設問3 平成24年の1年間の出生数で、近い数字はどれか。平成24年と平成23年の総人口の数字を比べひとつ選び、番号で答えなさい。

1. 10万人 2. 50万人 3. 100万人 4. 150万人

設問4 設問3で選んだ数値は、どのように考えて選びましたか。その理由を枠内に述べなさい。

設問5 【表1】を見て、死因や死亡数について考えたことを枠内に述べなさい。

平成 30 年度

横浜創英大学

〔看護学部 看護学科〕

推薦入学試験〔公募〕（第Ⅱ期）

総合問題

平成29年12月2日（土）

受験生に対する注意

1. 「始め」の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 指示があったら問題冊子と解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1 ページです。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答はHB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用し、下敷きは使用しないでください。
5. 解答は別紙解答用紙に記入してください。
6. 試験開始後30分間は退場できません。30分を経過して退場するときは、静かに手をあげて試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題冊子、解答用紙はすべて回収となります。

受 験 番 号

N					
---	--	--	--	--	--

氏 名

--

問題 次の【表1】は、35歳以上男子における喫煙量と死因別年齢調整死亡率である。この表を見て設問に答えなさい。

英国のドール博士は、1951年10月に喫煙習慣に関する調査を行った。質問票が、英国の全医師59,600人に送付された。そのうち、40,701人（男：34,494人、女：6,207人）が有効な回答を寄せた。この人たちはその後、4年5か月間追跡された。その結果、観察されたことをまとめて、35歳以上の男子だけの結果を示したのが下の表である。

【表1】 35歳以上男子における喫煙量と死因別年齢調整死亡率

死 因	死亡数 (人)	年齢調整死亡率(人口1,000対)					
		男子全体	非喫煙者	喫煙者	1日当りの平均喫煙量(本/日)		
					1~14	15~24	25~
①肺がん	84	0.81	0.07	0.90	0.47	0.86	1.66
②肺がん以外のがん	220	2.20	2.04	2.02	2.01	1.56	2.63
③肺がん以外の呼吸器疾患	126	1.10	0.81	1.13	1.00	1.11	1.41
④心筋梗塞	508	4.78	4.22	4.87	4.64	4.60	5.99
⑤その他の死因	779	6.79	6.11	6.89	6.82	6.38	7.19
⑥全死因	1,716	15.48	13.25	15.78	14.92	14.49	18.84

注：年齢調整死亡率は、非喫煙者と喫煙者の年齢構成が同じであると仮定して求めた死亡率
 出典：Doll R, et al: Mortality in relation to smoking: ten years' observations of British doctors. Br Med J, 1964 を基に作成

設問1 喫煙の影響が最も強く作用していると考えられるのは、どの死因ですか。ひとつ選び、番号で答えなさい。

設問2 設問1で選んだ死因は、どのように考えて選びましたか。その選んだ理由を説明しなさい。

設問3 1日当りの平均喫煙量（本/日）を調べたことは、どのような意味があるか説明しなさい。

設問4 心筋梗塞と喫煙との間には、どのような関連があると考えられますか。具体的な数字を使用して説明しなさい。

設問5 【表1】を見て、考えたことを延べなさい。

(総合問題 おわり)